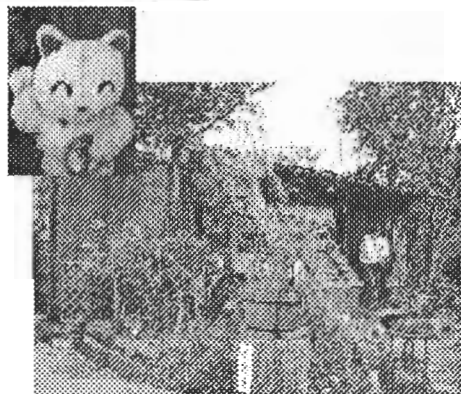




「まちの駅物語」(寄稿)

生まれ育った宇都宮の中心部から、人やお店が減っていき、まちの歴史や文化も一緒に消えかけていることをとても寂しく思った私が、少しでもまちを元気にするために、自分でもできることを探し始めて2年。ついに出会った「これぞ、まちの元気の素」が「まちの駅」です。「まちの駅」を栃木県内にもっとつくりたい、駅同士をつなげるお手伝いをしたい、という思いから、今年「まちの駅ネットワークとちぎ」をひとりりて立ち上げました。

私のおススメ！「まちの駅」。どんな駅なんでしょうね。さあ、物語の始まりです。



語り部●吉田恵子 (まちの駅ネットワークとちぎ/宇都宮)

まちの駅。それは街中のほっと一息つける場所。まちの駅。それはまちの人の心の交差点。休憩・情報提供・交流・連携の4つの機能を持つ「まちの駅」は、NPO地域交流センターによって、今、日本全国に広がりつつある施設です。

るこころ、まごころ、もてなしのこころ、あそびこころ」をご用意ください。あとは空いてる場所にイスとまちのマップやパンフレットなどを入れる情報ラックを置いて、誰でも使えるトイレがあれば、もうそこは、まちの駅です。ほらね、とっても簡単でしょ。

第一幕●まちの駅にはなにがある？

①まちの駅には、トイレと休憩スペースがある。

まちを歩いていて、「トイレに行きたい」、「ちよつと休みたい」。と思ったこと、ありませんか？そんな時、助けてくれるのがまちの駅。気軽に使えるトイレと休憩スペースがあるまちの駅は、街中のほっと一息つける場所です。

②まちの駅には、旬の情報があがる。

「道に迷った」、「今、どんな花が咲いているの?」。わからないことがある時はまちの駅へ行きましょう。そこにはまちの情報が集まっています。そしてまちの駅の駅長さん、駅員さんがまちのことをいろいろ教えてくれます。



③まちの駅には、出会いがある。

まちに住む人。まちで働く人。まちに遊びに来た人。まちの駅にはいろんな人がやってきます。まちの駅での出会いがきっかけになって人と人との交流が生まれ、そこから新しい何かが始まるかもしれません。

④まちの駅には、全国につながるドアがある。

日本全国に約300あるまちの駅。同じ志を持つ駅どうしが仲良くなって、駅のあるまちどうしが仲良くなって、まちのある県どうしが連携して…。まちの駅から全国へ、ともだちの輪が広がります。

第二幕●まちの駅～その作り方～

◎キーワードは「もてなし・遊び…」

休憩できて、情報があって、交流して、連携して。と話す「まちの駅」作ること、大変なんじゃない?と思われるかもしれませんが、作り方はいたって簡単。まずは「4つのこころ=まちを愛す

第三幕●ある駅の日(大平町にある駅)

◎まちの駅にしたら、喫茶店のお客さんどうしの交流が！！

ここは大平町にある「香秘と芸術と人の駅」。とってもおいしい香秘=コーヒーが飲めるまちの駅。駅長の山根萌さんにお話を伺いました。



「10年前に始めた喫茶店をまちの駅にして4年。大きく変わりましたよ。「まちの駅って何?」というお客さんの問いかけに答えていくうちに、こちらから情報を出すだけでなく、お客さんからも情報をもらうことが多くなりました。そのうちお客さん同士が情報交換するようになって、仲良くなって、全国に交流の輪が広がっています。中には「まちの駅大使」として、他の駅を訪ねてレポートしてくれる方まで現れました。まちの駅になってお客さんの意識も変わったようですよ。」

私が遊びに行った時もお店に入るなり「こんにちわ」と声をかけてくれたのは、お客さん。初めて会ったのに昔からの友達のように、仲良く「住んでるところ、よかったですよ」とまちづくり談義に花を咲かせてくれました。

エピソード

◎普段着のまちづくり、一緒にやろう!

「まちの駅物語」。いかがでしたでしょうか? 通りすがりのまちの駅で、普段着のまちづくりが始まる。まちの人の幸せ紡ぐまちの駅。そんなまちの駅、あなたも一緒に作ってみませんか?

■写真=香秘と芸術と人の駅 (上●看板と駅舎、中●情報ラック、右上●駅長さんと仲間たち) ■大平町「香秘と芸術と人の駅」、NPO法人「地域交流センター」、「まちの駅ネットワークふくおか」のみなさんのご協力をいただきました。■まちの駅についてもっと知りたい! まちの駅を作りたいという方はこちらへ。E-mail: manetoch@rrbrnity.com